

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024400	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	市庁舎整備事業		所属名	総務部 総務部庁舎整備局	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成28年度～平成31年度
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市役所の位置を定める条例
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区		
			0	0		
実施の 手段			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市庁舎整備事業費			予算事業コード	01-02-01-06-13-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本庁舎、第二庁舎は耐震基準を下回っており、老朽化が進んでいる。また本庁機能が6カ所に分散していることから、市民サービスの上で問題を抱えている状態であるとともに、バリアフリー化が十分ではない、環境配慮に対応できていない、時代が変わっても長期間使い続けることができる空間構成になっていないなど問題を多く抱えている。
意図 (どのような状態にするために)	災害に強く市民の安全安心を守る拠点として機能する新本庁舎を建設する。
手段 (どうするか)	市民への情報提供に努めながら、「みんなでつくとっとり市庁舎の考え方」を取り入れながら作成した実施設計を基に建設工事に着手し、平成31年秋の開庁に向けて新本庁舎の建設を進める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①工事発注方法検討 ②地質調査等 ③オフィス環境整備	①工事発注 ②地質調査等 ③実施設計完成 ④オフィス環境整備 ⑤工事監理	①工事発注 ②地質調査等 ③オフィス環境整備 ④工事監理	①工事監理 ②地質調査等 ③オフィス環境整備		
	年度別実績	①委員会を設置し、提言を受けた ②地質調査や観測井設置の実施 ③事務環境や引越作業に関する諸課題の整理の実施	①建築・庁舎棟等の工事発注 ②観測井のモニタリングの実施 ③実施設計の完成 ④文書削減、什器備品現状調査の実施 ⑤工事監理を実施				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	118,019	3,898,380	0	0	0	
	直接経費 A	103,581	3,876,423	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	59,300	0	0	0
		地方債	20,500	3,599,800	0	0	0
		その他	83,081	217,323	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	14,438	21,957	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	市庁舎整備の進捗率	%	目標	0	0	0	100	0
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明) 平成31年度の市庁舎整備完了に向け、実施設計、建設工事を実施する。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】庁舎整備局 0857-20-3012</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P9（庁001）</p> <p>【事業の概要】 平成29年8月に新本庁舎建設の実施設計を完成させ、7件の工事に着手した。また、地盤や水質の調査を実施するとともに市民サービスと事務効率の向上のためのオフィス環境整備業務を実施した。住民への説明会や調査結果の公表など積極的に情報提供に努めた。</p> <p>【事業の成果】          &lt;&lt;平成29年度実績&gt;&gt;  <input type="radio"/> 基本設計・実施設計業務 101,305千円（契約期間：H27～H29）  <input type="radio"/> オフィス環境整備業務 5,134千円（契約期間：H27～H31）  <input type="radio"/> 地盤改良工事 354,157千円  <input type="radio"/> 新築工事関係（契約期間：H29～H31）            庁舎棟・市民交流棟新築工事：2,357,010千円            電気設備（強電、弱電）工事：377,560千円            機械設備（給排水衛生、空調）工事：585,350千円            庁舎棟昇降機設備工事：38,050千円            工事監理業務：36,270千円  <input type="radio"/> 調査業務            地盤変動影響（事前）調査：8,768千円            観測井モニタリング調査：5,724千円            地中熱利用設備調査：6,480千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成31年の開庁を目指して、市民の安全、安心なくらしを支える拠点となるよう、新本庁舎の建設を着実に進めていく。 ※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金。 ※その他財源の諸収入は、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	市庁舎整備の進捗率					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初のスケジュールどおり工事契約を締結することができた。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新築(地盤改良等)工事に関しては、契約額の増額を行ったものの、当初想定していた新築工事の総工事予算額の範囲内で新築工事契約を締結することが出来た。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

平成31年秋の新本庁舎開庁に向け、建設工事、移転準備作業などを着実に推進していく。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024500	重点施策	まちづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	自主防災会関係事業		所属名	総務部危機管理局 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	事業期間	平成8年度～全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	災害対策基本法
施策	4101	地域防災力の向上			
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数	1地区	2地区	運営方法	直営
		0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	自主防災会関係費		予算事業コード	01-02-01-11-07-12

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内自主防災会 (KPI設定により消防団も含める)
意図 (どのような状態 にするために)	災害時の被害軽減に必要な自助・共助・公助のうちの「共助」の中心となる自主防災会や消防団の機能を強化することにより地域防災力の向上を図る。
手段 (どうするか)	市が指定する研修の修了者を「防災リーダー」に登録するとともに、地区公民館単位で防災リーダーの中から1名を「防災指導員」として委嘱するなど、自主防災活動の中心的役割を担う者を育成し、消防団員と共に住民自らによる地域防災力の向上を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	①防災指導員(防災リーダー)養成研修の実施 ②自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 ③自主防災会と消防団との連携等による地域防災力の向上	
	年度別実績	①防災指導員・リーダー養成研修実施(防災リーダー431人登録、防災指導員50人委嘱) ②自主防災会研修等への防災指導員・リーダーの派遣延べ30回 ③各地域での防災訓練実施	①防災指導員・リーダー養成研修実施(防災リーダー525人登録、防災指導員49人委嘱) ②自主防災会研修等への防災指導員・リーダーの派遣延べ40回 ③各地域での防災訓練実施				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,248	8,482	0	0	0	
	直接経費 A	1,029	1,163	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	331	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	698	1,163	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	【KPI】自主防災組織率	%	目標	97	98	99	100	0
				実績	96	94	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
2	【KPI】消防団員数充足率	%	目標	97	98	99	100	0	0
			実績	96	96	0	0	0	
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
3	防災リーダー	人	目標	120	120	120	120	120	
			実績	105	100	0	0	0	
	(指標の説明) 地域の自主防災活動を行うため、所定の研修を修了した者を防災リーダーとして登録した人数								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 防災支援係 (0857-20-3127)</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 (事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 地区公民館を単位として、地域の防災事情に詳しい者を防災指導員として養成・登録。危機管理課に配置している防災コーディネーターと連携して、自主防災会などによる地域の「自助」及び「共助」の取り組みを支援するなど、地域の実情に応じたきめ細やかな防災対策を推進することにより地域防災力の向上を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成30年3月現在 防災指導員……49名 防災リーダー登録者……525名 (消防団員…1283名) 防災リーダー新規登録者…100名</p> <p>①防災リーダー養成研修の開催 (3部構成) 7月30日、8月27日、9月24日</p> <p>②防災指導員研修の開催 4月24日</p> <p>③自主防災会訓練・研修への防災指導員 (防災リーダー) の派遣 防災指導員 (防災リーダー) を危機管理課の防災コーディネーターの依頼により、自主防災会の訓練・研修会へ積極的に派遣した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、各地区の自主防災会や消防団と連携を密にし、防災指導員・防災リーダー・消防団員の育成と後継者等も含めた人員確保と、防災指導員などの地域防災の要となる者を通じて地域住民への防災知識の普及に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	(KPI)自主防災組織率	99%	96%			
	2	(KPI)消防団員数充足率	99%	98%			
	3	防災リーダー	88%	83%			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>自主防災会組織数や防災リーダー登録者数は、目標達成に向け順調に推移している。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>自主防災会連合会及び育成活動を含めた本市の取り組みにより、防災リーダー登録者数の増加により自主防災会(町内会単位)での体制づくりも安定感を増しつつあり、「共助」の推進に寄与している。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>引き続き、防災指導員及び防災リーダーの育成に努めるとともに、防災指導員未配置の地域へは委嘱に向けた働きかけを行うよう努める。また、防災指導員などの地域防災の要となる者の活動を活性化させる取り組みをより一層推進する。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024600	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	総合防災対策事業		所属名	総務部危機管理局 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	災害対策基本法
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	総合防災対策事業費			予算事業コード	01-02-01-11-07-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の安全確保のための総合的な防災対策整備
意図 (どのような状態 にするために)	「自助」「共助」「公助」それぞれを有効かつ連携して機能させ、災害を未然に防ぎ、また発生時の被害及び住民生活等に及ぼす影響の最小化を図る。
手段 (どうするのか)	市民に配布する防災マップの作成やFM鳥取の緊急割込み放送等による防災情報提供の充実と、自主防災会自らが作成する防災マップの作成支援等「共助」の充実による地域防災力向上。また、BCP策定や事業所の協定による「公助」の体制整備。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①総合防災マップ・BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①地域防災計画改訂、BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①地域防災計画改訂、BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①総合防災マップ・BCP改訂及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	①地域防災計画・総合防災マップ・BCP作成及び地区防災マップ作成支援 ②FM鳥取緊急割込放送等による防災情報伝達、職員参集システム活用及び維持管理、他都市・事業所等との災害時応援協定	
	年度別実績	①総合防災マップを作成及び配布 ②職員参集システム及びとっとり地域防災メールの運用、新規災害応援協定等4件	①地区防災マップ作製の支援(2地区) ②FM鳥取と連携した防災情報の伝達、職員参集システム及びとっとり地域防災メールの運用、新規災害応援協定等1件				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	23,584	11,908	0	0	0	
	直接経費 A	16,365	4,589	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,748	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,617	4,589	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	地区防災マップ作成	地区	目標	4	4	4	4	4
				実績	0	2	0	0	0
	(指標の説明) 地区公民館単位で住民自らが作成する防災マップの作成地区数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 防災支援係・消防企画係 0857-20-3127・20-3118</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次： 当初予算・P25 (防001)          9月補正 (9月15日追加) ・P1 (防001)          9月補正 (9月29日追加) ・P1 (防001)</p> <p>【事業の概要】          災害を未然に防ぎ、発生時の被害を最小限に食い止めるため、総合的に防災体制を整備する。また、住民に対する防災意識の啓発と防災情報の提供を強化していく。</p> <p>①鳥取市防災会議          鳥取市地域防災計画において、その実施事項を推進することや、市長の諮問に応じて市域に係る防災に関する重要事項を審議する。</p> <p>②住民への防災情報伝達          災害時における住民への情報伝達手段について、多種多様な方法により情報の発信を行い、住民への情報提供を行う必要がある(自主防災会等へのメール配信など)。</p> <p>③総合防災マップ等の活用 地域防災計画、総合防災マップ等を活用し、防災意識・防災体制の強化を図る。</p> <p>④災害時応援協定都市等との交流 相互応援協定締結都市等と情報の共有を行い、災害時の連携強化を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員参集システム、自主防災会メール配信システム、被災者支援システムの運用</li> <li>・FM鳥取と連携した防災情報の発信(台風、不発弾関係等)</li> <li>・災害時応援協定都市等との連携強化</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】          より効果的に災害対応が行えるように、随時手段等の更新・見直しを行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	地区防災マップ作成		50%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>多様な情報伝達手段によって、より多くの住民に防災情報の伝達が図られた。また、中核市移行等に伴う地域防災計画の見直しを行い、29・30年度と段階的な計画改訂の作業を進められた。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新たに2地区が地区防災マップの作成に取り組みましたが、29年度末での作成状況として61地区中、37地区(全体の6割)の取り組みにとどまっており、自助・共助の推進の観点からもさらなる働きかけが必要である。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も効果的な防災情報伝達手段を用いて、より迅速に、より多くの住民に防災情報が伝達できるように努めていく。また、地区防災マップの作成など、住民自らが地域の防災に関わりをもつことでその意識の高揚に繋げていくよう努める。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024701	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	消防ポンプ車購入・格納庫建設事業(消防ポンプ車)		所属名	総務部危機管理局 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4101	地域防災力の向上		
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数	1地区	2地区	運営方法	直営
		0	0	会計区分	一般会計
		0	0		
予算	予算事業名	消防ポンプ車購入費		予算事業コード	01-08-01-03-03-03

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市消防団に配備する消防ポンプ車
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化した消防ポンプ車を更新し、火災をはじめとした消防団の災害対応に万全を期す
手段 (どうするのか)	消防ポンプ車を計画的に更新する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①ポンプ車更新 2台	平成29年度 ①ポンプ車更新 2台	平成30年度 ①ポンプ車更新 2台	平成31年度 ①ポンプ車更新 2台	平成32年度 ①ポンプ車更新 2台	
	年度別実績	①ポンプ車更新 2台 (河原本部、鹿野第1)	①ポンプ車更新 2台 (末恒、豊実)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	40,925	36,266	0	46,008	46,008	
	直接経費 A	40,203	35,534	0	46,008	46,008	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	40,100	35,300	0	46,000	46,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	103	234	0	8	8
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		消防車更新台数	台	目標	2	2	2	2	2	
			実績	2	2	0	0	0		
	(指標の説明) 更新した消防車の台数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 消防企画係 0857-20-3118</p> <p>【10次総の政策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P28（防007）</p> <p>【事業の概要】 消防団の消防ポンプの中には、配備から20年以上経過しているものがある。 消防ポンプを更新することにより、作業効率の向上及び、火災時等における被害の軽減を図るため、計画的に更新していくことが必要である。</p> <p>【事業の成果】 ①消防ポンプ自動車更新 ②小型動力ポンプ更新 平成25年度 ポンプ車更新（神戸）、小型ポンプ更新（倉田） 平成26年度 ポンプ車更新（福部本部、東郷）、小型ポンプ更新（津ノ井） 平成27年度 ポンプ車更新（美保、国府第2）、小型ポンプ更新（米里） 平成28年度 ポンプ車更新（河原本部、鹿野第1）、小型ポンプ更新（福部） 平成29年度 ポンプ車更新（末恒、豊実）、小型ポンプ更新（気高第1）</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成29年度末時点の消防ポンプ自動車及び可搬消防ポンプ積載車の総数は53台で、購入から20年以上経過したポンプ車は13台、積載車は5台ある。また、可搬消防ポンプの総数は39台で、購入から20年以上経過したポンプは19台ある。 購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理運用を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	消防車更新台数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理運用を行う。		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	024702	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	消防ポンプ車格納庫建設事業費(格納庫建設)		所属名	総務部危機管理局 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4101	地域防災力の向上			
目標の 実施の 目標の	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	消防ポンプ車格納庫建設事業費			予算事業コード	01-08-01-03-02-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市消防団の消防ポンプ車格納庫
意図 (どのような状態 にするために)	老朽化し、また消防団員の待機室を備えていないなど設備が不十分な消防ポンプ車格納庫を防災拠点として必要十分な施設とするため
手段 (どうするのか)	消防ポンプ車格納庫を建設する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟	平成29年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 2棟	平成30年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟	平成31年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟	平成32年度 ①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟	
	年度別実績	①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟(用瀬社分 団)	①消防ポンプ車格納庫 建設 1棟(明治分団 )				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	27,267	27,277	0	26,580	26,580	
	直接経費 A	26,545	26,545	0	26,580	26,580	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	24,900	23,200	0	26,500	26,500
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,645	3,345	0	80	80
人件費 B	722	732	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	消防ポンプ車格納庫建設数	単位	棟	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		実績				1	1	0	0	0		
	(指標の説明) 建替又は改築等により整備した消防ポンプ車格納庫の棟数											
	2	目標		0		0		0		0		0
		実績		0		0		0		0		0
	(指標の説明)											
3	目標		0		0		0		0		0	
	実績		0		0		0		0		0	
(指標の説明)												

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 消防企画係 0857-20-3118</p> <p>【10次総の政策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P27(防006)</p> <p>【事業の概要】 消防格納庫の中には、建設から50年近く経過して老朽化しているとともに、格納庫が狭小であるため、新型の消防ポンプ車が格納できない格納庫がある。また、団員が迅速に活動するための待機場所の設置が必要となっている。 老朽化している格納庫を新築することにより、今後の消防ポンプ車の配備に備えるとともに、消防ポンプ車格納庫に待機場所を整備することによる出勤時間の短縮により、被害の軽減を図ることができる。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 東郷分団格納庫予定地建物(旧東郷公民館)解体 平成26年度 東郷分団格納庫設計・建築(25年度の繰越) 鹿野第2分団格納庫設計、簡水・下水接続工事 平成27年度 鹿野第2分団格納庫建築(26年度の繰越) 用瀬社分団格納庫設計 平成28年度 用瀬社分団格納庫建築 明治分団格納庫設計 平成29年度 明治分団格納庫建築 福部地区団格納庫設計</p> <p>【今後の課題・方向性】 建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	消防ポンプ車格納庫建設数	100%	50%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行った。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行った。しかし、同一年度中で設計及び施工を行うことは、スケジュール等に懸念がある。入札不調となる等不測の事態があった場合には、適切な工期を確保することが困難となる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	建設年次等を勘案し、計画的に建替えを行う。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024800	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	防災行政無線整備事業		所屬名	総務部危機管理局 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4101	地域防災力の向上			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	防災行政無線整備事業費			予算事業コード	01-02-01-11-07-15

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市防災行政無線（地上系無線）
意図 (どのような状態 にするために)	防災行政無線により、全市域へ災害時の緊急情報を伝達可能とするため
手段 (どうするのか)	防災行政無線の難聴地域での無線設備整備及び既設のアナログ防災行政無線設備のデジタル化による整備更新

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①防災行政無線のデジタル化整備(青谷地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(気高・鹿野地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(気高・鹿野地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(河原地域)	①防災行政無線のデジタル化整備(福部・用瀬地域)	
	年度別実績	①防災行政無線のデジタル化整備を完了(青谷地域)	①防災行政無線のデジタル化整備に着手(気高・鹿野地域/2カ年事業)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	164,904	146,639	0	0	0	
	直接経費 A	157,685	139,320	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	149,100	139,300	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,585	20	0	0	0
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	防災行政無線デジタル化	カ所	目標	1	0	2	2	2
				実績	1	0	0	0	0
	(指標の説明) 防災行政無線をアナログ方式からデジタル化するもの(国府を除く新市域)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係 0857-20-3127</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P26（防003）</p> <p>【事業の概要】 鳥取市の防災行政無線（同報系）は、現在、平成22年にデジタル化方式で整備した鳥取・国府地域と、合併前にアナログ方式で整備されていたその他新市域の8つのシステムで運用しているが、総務省のデジタル化の方針により、平成34年11月までにアナログ方式からデジタル方式へ切り替えるとともに、鳥取市として1つのシステムに統合する必要があるため、年次的にデジタル化整備・統合を行う。</p> <p>【事業の成果】 気高・鹿野地域において、防災行政無線のデジタル化整備に着手した。 （29年度末工事進捗率…75%）</p> <p>【今後の課題・方向性】 防災行政無線は、緊急時の情報伝達の重要な手段の1つであるが、老朽化しているアナログ同報系無線部品の生産停止など維持修繕が困難な状況でもあることから、デジタル化は急務であり、計画的に整備を進めていくものとする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	防災行政無線デジタル化	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>工程変更なく30年度中の運用開始に向け、順調に進捗している。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>誠意をもって地域住民への説明を行ったことで、デジタル化への理解を深めていただいた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>防災行政無線は、防災情報を瞬時かつ広範囲に発信する有効な情報伝達手段であり、デジタル化の移行期限もあることから、計画どおりの進捗が図られるよう努める。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	024900	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業		所属名	福祉部 地域福祉課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成18年度 ～ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、根拠計画等	鳥取市避難行動要支援者支援制度実施要項
	施策	4101	地域防災力の向上			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費			予算事業コード	01-03-01-01-43-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	災害時に支援の必要な障がい者やひとり暮らしの高齢者などの要援護者
意図 (どのような状態にするために)	災害時要援護者登録台帳を整備し、地震や洪水などの災害時において地域の「共助」により支援を受けられる体制を整備する。
手段 (どうするのか)	市内の自治会単位で災害時要援護者登録台帳を整備する。特に支援が必要な障がい者やひとり暮らしの高齢者などについては、対象者リストを地域の支援組織に提供し、要援護者の存在について認識してもらうとともに対象者に対し、制度への登録について勧奨を行ってもらう。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人(H28.3.31現在)	平成29年度 ①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人(H28.3.31現在)	平成30年度 ①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人(H28.3.31現在)	平成31年度 ①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人(H28.3.31現在)	平成32年度 ①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,021人(H28.3.31現在)	
	年度別実績	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,340人	①市内全61地区での避難行動要支援者支援制度の実施 ②避難行動要支援者登録台帳への対象者登録 ※登録者数6,310人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,641	3,669	0	0	0	
	直接経費 A	350	337	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	350	337	0	0	0	
人件費 B	3,291	3,332	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		避難行動要支援者登録台帳登録者数	人	目標	6021	6050	6100	6150	6200	
			実績	6340	6310	0	0	0		
	(指標の説明) 平成28年3月31日現在登録者数を基準とする。									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】福祉企画係 0857-20-3451</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 要支援者対象者の範囲を絞り込んだ「避難行動要支援者対象者リスト」を作成する。</p> <p>2 「避難行動要支援者対象者リスト」を地域の支援組織（自治会、自主防災組織、地区民生児童委員協議会、地区社会福祉協議会）に提供し、要支援者の存在を認識していただくとともに、対象者に対して制度への登録勧奨を行っていただく。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>制度登録者数 平成26年度末：5,330人 平成27年度末：6,021人 平成28年度末：6,340人</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>平成27年度をもって全ての地区（61地区）において取組むこととなり、登録者数も伸びているが、数年間登録勧奨を行っていない地区もあり、より登録者数を増やすため、また登録の内容を再確認するためにも説明会の開催等を通じて各地区の推進状況を把握する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	避難行動要支援者登録台帳登録者数	105%	104%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>1年間のスケジュールに沿って計画通りに事業を進めたことで、登録者数が順調に伸びた。引き続き自治会を中心とした地域の支援組織と連携をとり、制度の周知を図ることで登録者数を伸ばしていく。また、来年度からは対象者リストの配布を2ヶ月早め、地域での取り組み期間を長くする。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025000	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	わが町支え愛活動支援事業		所属名	福祉部 地域福祉課		

## 1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	わが町支え愛マップ推進事業補助金交付要綱
施策	4101	地域防災力の向上				
施策の 目標の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	わが町支え愛活動支援事業補助金			予算事業コード	01-03-01-01-56-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	障がい者や独居の高齢者の方々等 (要支援者)
意図 (どのような状態にするために)	要支援者が身近な地域で安全安心に暮らすための地域住民が主体となった支え愛体制の充実を図る。
手段 (どうするのか)	要支援者に対する災害時の避難支援等の仕組みづくりや平常時の見守り体制づくり等の住民組織等による取組を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:20団体 ・ステップアップ事業:5団体	平成29年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:15団体 ・ステップアップ事業:5団体	平成30年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:4団体	平成31年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:4団体	平成32年度 ①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:4団体
	年度別実績	①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:5団体 ・ステップアップ事業:4団体	①要援護者支援の取り組み助成 ・支援事業:4団体 ・ステップアップ事業:4団体			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	1,322	1,028	0	0	0
	直接経費 A	600	296	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	600	296	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	実施住民組織	団体	目標	25	20	8	8	8
				実績	9	8	0	0	0
		(指標の説明)							
	2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							
	3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
		(指標の説明)							

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 福祉企画係 0857-20-3451
	【10次総の施策体系】 4101
	【予算計上の経過】 平成24年度から県補助事業としてスタートし、翌年からは県1/2、市1/2補助となった。平成28年度で5年目を迎え、平成29年度から新たな事業「災害時における支え愛地域づくり推進事業補助金」(県1/2、市1/2補助)が創設された。
	【事業の概要】 支え愛マップ作成、地域支え愛会議の開催等を通して、災害が発生した際に最も被害にあう確率が高い要支援者(障がい者、要介護者、独居高齢者など)の地域での支援体制(安否確認や避難誘導、平常時の見守りなど)を整備する。
	【事業の成果】 平成26年度 30団体 平成27年度 支援事業：13団体 ステップアップ事業：実績なし 平成28年度 支援事業：5団体 ステップアップ事業：4団体
【今後の課題・方向性】 本事業を活用して支え愛マップを作成されていない町内会等はたくさんあり、引き続き支え愛マップ作成や共助による支え愛体制構築の重要性を周知していく必要がある。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	実施住民組織	36%	40%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>年度計画の進捗度</b>  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<b>事業の成果</b>  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	支え愛マップ作成の必要性が十分に周知できていなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>平成29年度より県社会福祉協議会が自治会役員、民生委員等コーディネーターを対象にした研修会を開催しており、鳥取市としても各総合福祉センターに配置しているコーディネーターによる事業の周知、支え愛マップ作成の支援を強化していく。</small>							



# 事務事業評価シート

事務事業コード	025100	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	普通河川改良事業		所属名	都市整備部	都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4101	地域防災力の向上			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	普通河川改良事業費			予算事業コード	01-07-03-01-07-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	準用河川及び治水・環境衛生上重要な法定外水路
意図 (どのような状態 にするために)	流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る
手段 (どうするのか)	河川改良整備を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③青谷町福井田川改良工事 ④鮫後川改良工事 ⑤北田川改良工事 ⑥笹谷川改良工事	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③茶屋川改良工事 ④吉野川改良工事 ⑤旧畑山川改良工事 ⑥佐治町河合谷川改良工事測量設計業務	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③佐治町河合谷川改良工事 ④青谷町福井田川改良工事 ⑤茶屋川改良工事 ⑥日光川改良工事 ⑦福井川改良工事	①内海川改良工事 ②佐治町河合谷川改良工事 ③茶屋川改良工事 ④気高町日光川改良工事 ⑤福井川改良工事	①内海川改良工事 ②気高町日光川改良工事 ③福井川改良工事	
	年度別実績	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③青谷町福井田川改良工事 ④鮫後川改良工事 ⑤北田川改良工事 ⑥笹谷川改良工事	①内海川改良工事 ②坂根川改良工事 ③茶屋川改良工事 ④吉野川改良工事 ⑤旧畑山川改良工事 ⑥佐治町河合谷川改良工事測量設計業務				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	82,793	98,903	0	0	0	
	直接経費 A	75,574	91,584	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	68,000	82,300	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,574	9,284	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	法定外水路の改修・改良工事	箇所	目標	6	6	4	0	0	
				実績	6	6	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】河川係 0857-20-3256</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P193（都027）</p> <p>【事業の概要】 河川災害を未然に防止するため、治水・環境衛生上重要な法定外水路の改修・改良を行い、流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る。</p> <p>【事業の成果】 法定外水路の改修・改良工事など 平成27年度 77,406千円 平成28年度 75,573千円 平成29年度 66,957千円 (翌年度繰越額 13,900千円 内海川改良工事)</p> <p>【今後の課題・方向性】 河川災害を未然に防止し住民の安全確保を図るため引き続き改良事業に取り組む必要があり、今後も、内海川等法定外水路の改修等を行い流域の浸水の軽減、環境改善を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	法定外水路の改修・改良工事	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	河川災害を未然に防止し、住民の安全確保を図るため、引き続き計画的に取り組む必要がある。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025200	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	治水対策事業		所属名	都市整備部	都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 目標の	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	治水対策事業費			予算事業コード	01-07-03-01-11-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	洪水時、宅地の浸水被害を生じている区域
意図 (どのような状態 にするために)	浸水被害の軽減を図る
手段 (どうするのか)	浸水の要因となっている河川の改良及び内水被害軽減のためのポンプ場の整備、維持

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①瀬戸川改良工事 ②大塚地区浸水対策工 事	①大塚地区浸水対策工 事 ②塩見川関連浸水対策 調査検討業務 ③用瀬町川中谷川改良 工事測量設計業務 ④河原町クモ谷川改良 工事測量設計業務 ⑤既設ポンプ場の操作 ・点検	①谷田川改良工事 ③古海地区仮設排水ポ ンプ撤去工事 ③江川改良工事 ④川中谷川改良工事 ⑤河原町クモ谷川改良 工事	①谷田川改良工事 ②江川改良工事 ③塩見川関連浸水対策 工事	①谷田川改良工事 ②塩見川関連浸水対策 工事	
	年度別実績	①瀬戸川改良工事 ②大塚地区浸水対策工 事	①大塚地区浸水対策工 事 ②塩見川関連浸水対策 調査検討業務 ③用瀬町川中谷川改良 工事測量設計業務 ④河原町クモ谷川改良 工事測量設計業務 ⑤既設ポンプ場の操作 ・点検				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	56,315	63,017	0	0	0	
	直接経費 A	49,096	55,698	0	0	0	
	直接経 費の内 訳	国・県	344	1,063	0	0	0
		地方債	30,600	30,900	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,152	23,735	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	宅地浸水解消戸数	戸	目標	2	0	1	0	0
				実績	2	0	0	0	0
	(指標の説明) 治水事業により浸水被害を解消することができた宅地戸数(平成29年度修正)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】河川係 0857-20-3256</p> <p>【10次総の施策体系】4101</p> <p>【予算計上の経過】        予算事業別概要目次：当初予算・P193(都028)        12月補正予算・P23(都005)</p> <p>【事業の概要】        浸水被害を受けたことのある地域を早急に内水処理対策し、浸水被害を防ぎ市民の安全確保を図る。</p> <p>【事業の成果】        排水ポンプ点検運転業務、測量設計業務、改良工事など        平成27年度 36,326千円        平成28年度 38,465千円        平成29年度 42,062千円        (翌年度繰越額 11,751千円 大塚地区浸水対策工事、河原町散岐地区内水対策検討業務)</p> <p>【今後の課題・方向性】        内水処理対策による浸水防止を行い、住民の安全確保を図るため、起債事業にて引続き、取り組む必要がある。今後、起債事業にて大塚地区浸水対策工事により浸水戸数3戸の解消並びに冠水箇所を年次的に図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	宅地浸水解消戸数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>宅地等の浸水被害を生じている区域における被害軽減を図るため、引き続き計画的に取り組む必要がある。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025300	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業		所属名	都市整備部	建築指導課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画 の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市耐震改修促進計画
	施策	4101	地域防災力の向上			
目標の 実施の 目標の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費			予算事業コード	01-07-01-02-17-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	昭和56年5月31日以前に建築(旧耐震)された戸建て住宅、一般建築物、要緊急安全確認大規模建築物の所有者
意図 (どのような状態 にするために)	耐震診断、補強設計、耐震改修を実施し市民の安全性を確保するとともに震災に強いまちづくりとする。
手段 (どうするか)	戸建て住宅については、無料診断のPRを行い、耐震化の必要性を認識していただき、改修のための補助金の交付。また、一般建築物の所有者に対しても耐震化の必要性を認識していただき、耐震診断を行う者に対して補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①耐震診断:50件 ②耐震設計:15件 ③耐震改修:10件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	①耐震診断:53件 ②耐震設計:11件 ③耐震改修:9件	
	年度別実績	①耐震診断:45件 ②耐震設計:9件 ③耐震改修:6件	①耐震診断:20件 ②耐震設計:7件 ③耐震改修:6件				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,515	57,114	0	0	0	
	直接経費 A	15,184	52,723	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,297	39,481	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,887	13,242	0	0	0	
人件費 B	4,331	4,391	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	耐震化率	%	目標	90	92	93	94	95
				実績	82.7	83.4	0	0	0
	(指標の説明) 耐震化基準を満たした住宅や民間特定建築物の割合								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 建築指導係 0857-20-3282</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P201（都043）</p> <p>【事業の概要】 補助金名：震災に強いまちづくり促進事業費補助金 目的：震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全を図る 内容：昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及びその他の建築物の耐震診断、補強設計、耐震改修に対して助成を行う 補助対象者：建築物の所有者</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">耐震診断</td> <td style="text-align: center;">補強設計</td> <td style="text-align: center;">耐震改修</td> </tr> <tr> <td>平成27年度：</td> <td style="text-align: center;">39件</td> <td style="text-align: center;">14件</td> <td style="text-align: center;">4件</td> </tr> <tr> <td>平成28年度：</td> <td style="text-align: center;">45件</td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: center;">6件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度：</td> <td style="text-align: center;">20件</td> <td style="text-align: center;">7件</td> <td style="text-align: center;">6件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 耐震化事業の必要性をPRしながら、国の交付金や県の補助金を活用して耐震化率の向上を図る。</p>		耐震診断	補強設計	耐震改修	平成27年度：	39件	14件	4件	平成28年度：	45件	9件	6件	平成29年度：	20件	7件	6件
		耐震診断	補強設計	耐震改修													
平成27年度：	39件	14件	4件														
平成28年度：	45件	9件	6件														
平成29年度：	20件	7件	6件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	耐震化率	92%	91%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>耐震化の大切さを知ってもらうには建物の現状を把握することが必要であるため、一戸建て住宅の無料診断の案内を全戸に回覧したり市報、HPなどに掲載し啓発した。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>市民へ啓発を行い、国の交付金と県の補助金制度を活用して事業を進めているが、申請件数が予算枠を下回っているため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>市民の安全性を確保し、震災に強いまちづくりに向けて引続き建物の耐震化に対する市民への啓発等を実施し、耐震化事業を促進するためにも耐震診断・改修に係る事業を継続していく。また、大規模建築物耐震改修への助成を引き続き行う。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025400	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	総合支所耐震化事業		所属名	総務部総務調整局 財産経営課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	総合支所整備事業費			予算事業コード	01-02-01-06-01-43

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	総合支所庁舎
意図 (どのような状態 にするために)	地域防災拠点として必要な機能を備える
手段 (どうするのか)	耐震性の向上、非常用自家発電機的能力向上、バリアフリー化推進等

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①旧耐震基準の総合支所の耐震化方針決定 ②耐震化方針の決定した総合支所の耐震化推進	平成29年度 ①旧耐震基準の総合支所の耐震化方針決定 ②耐震化方針の決定した総合支所の耐震化推進	平成30年度 総合支所の耐震化推進	平成31年度 総合支所の耐震化推進	平成32年度 総合支所の耐震化推進
	年度別実績	①福部、河原、佐治、気高総合支所の耐震化方針決定 ②福部、河原、佐治総合支所の設計業務発注 気高総合支所は設計施工一括発注	①用瀬総合支所の耐震化方針決定 ②福部、河原、佐治総合支所の設計業務完了 気高総合支所の工事推進 用瀬総合支所の設計業務発注			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	27,077	307,272	0	0	0
	直接経費 A	19,858	292,634	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	614	20,191	0	0	0
	地方債	18,400	261,100	0	0	0
その他	0	11,343	0	0	0	
一般財源	844	0	0	0	0	
人件費 B	7,219	14,638	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		耐震化工事完了	支所	目標	0	0	1	1	3	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 財産政策第一係 0857-20-3851</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算・P11 (総調002)          9月補正・P03 (総調001)</p> <p>【事業の概要】          総合支所の防災機能向上</p> <p>【事業の成果】          平成27年度 総合支所基礎調査業務          平成28年度 福部、河原、佐治総合支所 設計業務発注          気高総合支所 設計施工一括発注          平成29年度 福部、河原、佐治総合支所 設計業務完了          気高総合支所 工事実施          用瀬総合支所 設計業務発注</p> <p>平成27年度実績 9,931千円          平成28年度実績 19,858千円          平成29年度実績 292,634千円</p> <p>【今後の課題・方向性】          福部、河原、佐治総合支所の工事実施 用瀬総合支所の設計業務完了後、速やかに工事発注</p> <p>※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	耐震化工事完了					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了			<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合			<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了		
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	引き続き事業推進を図る。							



# 事務事業評価シート

事務事業コード	025500	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	国民保護訓練		所属名	総務部危機管理局 危機管理課

## 1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	武力攻撃事態等における国民 の保護のための措置に関する法律
施策	4101	地域防災力の向上				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数		1地区	2地区	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	国民保護訓練費			予算事業コード	01-02-01-11-27-02

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内で大規模なテロ(緊急対処事態)や有事(武力攻撃事態)が発生又は発生するおそれのある場合(想定)に危険区域にいる市民及び関係機関
意図 (どのような状態 にするために)	大規模なテロや武力攻撃から市内にいる全ての人の生命、身体、財産を保護する。
手段 (どうするか)	鳥取市国民保護計画及び細部計画(マニュアル)に基づく国民保護訓練を実施し、有事の際の行動について住民に周知するとともに、訓練結果を検証し、市国民保護計画や市が行う国民保護措置をより実効的なものとする。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施	①国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練等)の実施
	年度別実績	①本市災害対策本部の統括部職員に対する図上訓練を実施	①地域住民・関係機関・事業者等と連携した実動訓練、本市災害対策本部の統括部職員に対する図上訓練を実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	7,255	7,338	0	0	0
	直接経費 A	36	19	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	16	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	20	19	0	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	国民保護訓練の実施	%	目標	1	1	1	1	1
		実績		1	2	0	0	0	
	(指標の説明) 有事の避難のため、住民の参加等を得て実施する国民保護訓練の実施回数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 消防防災係・危機対策係 (0857-20-3118・20-3127)</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 (事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市国民保護計画に基づく細部計画 (マニュアル) の見直し及びそれらを根拠とした市単独の図上訓練並びに実動訓練を実施する。</p> <p>【事業の成果】 10月29日 (日) … 神戸地区公民館を主会場とした国民保護実動訓練を実施 (避難情報伝達、避難誘導、避難所目張り、物資輸送等) 2月2日 (金) …… 国・県・市の共同による国民保護図上訓練を実施 (弾道ミサイル落下を想定したもの)</p> <p>【今後の課題・方向性】 住民の国民保護に関する理解を深めるとともに、蓄積された訓練実績やノウハウ等を活かしながら継続的に訓練を実施することで、より実効性のあるものとする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	国民保護訓練の実施	100%	200%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初の計画どおり、住民参加型の実動訓練に取り組んだ。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	実動訓練に加え、新たに当時の国際情勢に対応した国・県との共同訓練に取り組んだ。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	毎年、国民保護訓練を実施していくものとする。				

# 事務事業評価シート

事務事業コード	025600	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	防災備蓄事業		所属名	総務部危機管理局 危機管理課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間
	政策	01	暮らしの安全を守るまちづくり		根拠法令、 根拠計画等
施策	4101	地域防災力の向上		県及び市町村の備蓄に関する 連携体制整備要領	
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	防災行政無線のデジタル方式を整備した区域数	1地区	2地区	運営方法	直営
		0	0	会計区分	一般会計
		0	0	予算事業コード	01-02-01-11-18-01
予算	予算事業名	防災備蓄事業費			

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	災害時に必要となる物資
意図 (どのような状態 にするために)	災害時に必要となる物資の備蓄の確保と県内市町村等との相互支援体制の充実
手段 (どうするのか)	備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害時に速やかに物資が供給できる体制を確保する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新	①災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理および更新
	年度別実績	①アルファ化米2,500食、保存水7,680本、ウェットティッシュ800袋、粉ミルク1,152回分、し尿処理セット3,200セット、ブルーシート1,600枚	①アルファ化米850食、保存水7,680本、ウェットティッシュ700袋、粉ミルク1,152回分、し尿処理セット3,200回分、タオル1,200枚			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	8,769	8,486	0	0	0
	直接経費 A	1,550	1,167	0	0	0
	国・県	415	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,135	1,167	0	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	0	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	連携備蓄品の割合	%	目標	70	80	90	100	100
		(指標の説明) 県・市町村が共同して備蓄している品目のうち、本市が備蓄する品目の基準数量に対する備蓄割合(非充足分)		実績	71.41	80.7	0	0	0
2				目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係 (0857-20-3127)</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 (事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 県及び県内市町村が災害時に必要となる物資の品目、数量を定めた「県及び市町村の備蓄に関する連携体制整備要領」を基本として、災害に備えて県内市町村が共同で備蓄し、災害時には被害のない市町村から被災した市町村に物資を供給する相互援助体制をとることにより、備蓄する量を抑えることができる。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファ化米 (850食)</li> <li>・保存水 (500ml / 7, 680本)</li> <li>・ウェットティッシュ (700袋)</li> <li>・粉ミルク (1, 152回分)</li> <li>・し尿処理セット (3, 200回分)</li> <li>・タオル (1, 200枚)</li> </ul> <p>【今後の課題・方向性】 備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害発生時に速やかに物資等を供給できる体制を確保する。また、福祉避難所の備蓄品に関してニーズを把握し、県の助成制度を活用しながら必要品目の整備を進めることを検討する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	連携備蓄品の割合	102%	101%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>順調に備蓄数を増やしている。(使用期限や備蓄倉庫新設を考慮して、年次的に備蓄していく必要がある。)</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>目標値を概ね達成した。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害時に速やかに物資が供給できる体制の更なる充実に向けて取り組む。また、自主防災会等を通じて避難所等で求められる物資等のアンケート調査結果を参考にしながら、住民(避難者)ニーズに応じた備蓄にも努める。</p>		